



 <http://www.kasumi-gr.com/>

Contents



- 巻頭言「災害に対する備え」と「定期巡回」…………… P.1
- 平成28年度新入職員研修報告…………… P.2
- 南病院ベッド入替え完了のお知らせ…………… P.3
- 健康遊具設置、第5回ウェルカムパーティー開催報告……P.4
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護……………P.5

特集

「平成28年熊本地震によせて」

2016.06

Early Summer

「災害に対する備え」と「定期巡回」

医療法人真正会・社会福祉法人真寿会
理事長 齊藤 正身

「災害に対する備え」と「定期巡回」

またしても起こってしまった大地震：自然災害の恐ろしさを今回も痛感することになってしまいました。多くの友人や知人が被災者になり、リハビリの支援チームである全国組織 JRAT(※1)の一員として、それも都道府県単位のチームで活動することになりました。5、6月に数チームを現地に派遣するわけですが、日本医師会の災害対応組織である JMAT(※2)の傘下の活動ですから、身分保証もされているのでその点は安心です。

今回の災害で、多くの被災者が直後には近くの病院や施設に避難することになり、ロビーやデイケアルーム等が利用されていたことが報告されています。これは東日本大震災の時も同じで、入院や入所している方々のための三日分の備蓄を避難されてきた方々にも支給することになるので、三日分では到底足りないこととなります。

私たちの法人では、東日本大震災の教訓を生かしてデイケア用の備蓄は準備しています。今後は地域の皆さんに対する物資もできる限り備蓄する方針です。災害は、いつ起こるかわかりません。日頃から、心構えだけでなく、実際を想定した訓練や準備を怠らないように努めていきましょう。介護の必要な皆さんの在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、

訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行う「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を始めました。詳細は本誌の特集記事で紹介していますが、在宅での生活が安心して継続できるように支援になることを目指しています。もちろん従来からの訪問介護・訪問看護も継続して提供していきまから、今まで以上にきめ細やかな訪問によるケアサービステ体制が整うことを期待しています。

医療法人 真正会
理事長 齊藤 正身

※1) JRAT (Japan Rehabilitation Assistance Team : 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会) とは

大規模災害時において、救急救命に継続したリハビリテーションによる生活支援等により、生活不活発病等の災害関連死を防ぐことを目的とする団体です。

※2) JMAT (Japan Medical Association Team : 日本医師会災害医療チーム) とは

日本医師会により組織される災害医療チーム、およびその枠組み。現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支えるための組織です。

平成28年度の新入職員研修を開催しました

4月1日～12

日まで、新入職員研修が開催されました。内容は3部構成で、法人の歴史や理念について学ぶ法人研修、今年で3回目の宿泊研修、そしてケア研修です。



理事長講話では、真正会の設立理念「一人にも明日がある」が、どのような時代背景の中で生まれ、どのような想いが込められているのかを学びました。新入職員の多くは真正会が20周年の頃に生まれており、さらに20年以上前の話となると想像することは難しいかもしれません。しかし、当時の暮らしかや様々な出来事の詳細を聴くうちに、真正会の物語として自然に心に響いたようです。その物語の続きを担う一人としての意識が芽生えた時間となりました。

今年で3回目の宿泊研修では、「えすばわーる伊佐沼」を会場にワークショップや他己紹介を体験しました。当法人では、課題を解決するための手法としてワークショップを開催し、実行可能な解決策を皆で考える機会が多くあります。

様々な意見に耳を傾けてよく聴くこと、話し合いの結果をわかりやすくまとめて報告する作業は、日々の業務に直結する大切なスキルです。初めての発表に緊張しながらも、話し合いの経過を報告し合い、全体の意見をまとめることができました。

緊張の後は宴会でリフレッシュです。勤務を終えた先輩が合流して、美味しい食事を楽しみながら交流を深めました。この会の中で、先輩スタッフから新入職員の皆さんへ応援のメッセージを送ることが恒例となっていますが、伝える先輩も一生懸命です。

会場が心地よい緊張感に包まれて、素敵なメッセージが届けられました。「はじめは一人でやらなくちゃと思っていたけれど、先輩が、一人で抱え込まなくていいんだよ、と声をかけてくれて安心した。自分もそんな先輩になりたいと思っています。」「介護の仕事って何だろう…と悩んでいたけれど、寄り添って、その人らしさを知って一緒に考える。目と気持ちを向けていく仕事なんだとわかった。それを気づかせてくれた職場です。」どの先輩の言葉もあたたかく、心に響くメッセージでした。

宿泊研修の2日目は川越散策へ出かけました。蔵づくりの街並みを歩きながら、たくさん美味しいものにも出会い満面の笑顔です。これから自分たちが働く街を知り、同期や先輩との絆も深まりました。



研修後半のケア研修では、食事・口腔ケア・トイレ・着替え等の介助の基本を学ぶ他、危険予測トレーニングやリスクマネジメントの講義、実際に学んだことを現場で実践して覚えるプログラムに取り組み、長い研修を終えました。



元気いっぱいの新入職員を仲間に加え、職員一同、気持ちを新たに精進していきますので、どうぞよろしくお願致します。





全病棟全ベッドの入れ替えが完了いたしました。

入院環境整備の一環として、霞ヶ関南病院全病棟の入れ替えを行いました。機能性、操作性、安全性ともに向上した最新型の電動ベッドとなっております。

① 進化した背あげ機能

カインド PLUS モーション

背あげをする際の身体のずり落ちや圧迫感をさらに軽減しながら、これまでのベッドにはない座位に近い快適な起き上がりの姿勢がとれます。背あげをするときに発生する仙骨部への体圧を再分配することで床ずれ防止にも配慮。より骨盤が立ち、動きやすい早期リハビリテーションに適した姿勢に移行できます。

② 軽く操作しやすい優れた搬送性

ベッドの構造を抜本的に見直し、軽量で強度の高い新素材を使用することで、約10%の軽量化を実現しました。さらに重量の大きい部品をベッド中央部に配置して荷重バランスを改善しました。また、最低床高25cmの低床設計でありながらキャスターを大きくして段差を乗り越えやすくするなど、走行性も向上させました。

③ ベッド内蔵型離床センサー 離床キヤッチⅢ

ベッドに内蔵した荷重センサーが患者様の起きあがりや離床を感知してサービスマンにお知らせします。マット式、クリップ式センサーなどと比較してより正確な見地が可能なおうえ、患者様の周りに機器やコードを設置する必要がないので、ベッド周りでのつまづきなどの心配もありません。また、ベッドのどの位置から離床しても検知することができます。

また、ベッドサイドレールなどの適合するオプション製品を取り付けたときにできるすき間について、病院用ベッドのJIS規格（JIS T 9205:2009）に定められた寸法を厳守しており、骨折や窒息等の事故を防止する設計になっていきます。

引き続き、入院生活がより快適なものになるよう環境整備を行ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



パラマウントベッド
「メーティスプロシリーズ」

『ふれあい看護体験』を開催します

《日時》平成28年7月18日 月曜日（祝）10:00～12:00

《場所》医療法人真正会 霞ヶ関南病院 外来棟

《内容》血圧・脈拍などの測定、白衣体験、車いす体験
院内見学など

- 参加には事前の予約が必要です。なお、当日の受付締切時間は11:00となりますので、時間までにお越しください。
- 当日は動きやすい服装でお越しください。お土産もご用意しています！
- ふれあい看護体験 事前登録フォームは下記のURLとなります。

<https://ws.formzu.net/dist/S8631271/>

学生さん大歓迎 ナースのお仕事を 体験してみませんか？



事前登録フォーム

中庭に健康遊具が設置されました

4月より霞ヶ関南病院の中庭に健康遊具が設置されました。

健康遊具とは、誰でも気軽にストレッチや筋力トレーニングが出来る大人向けの健康器具です。最近では公園でもよく目にする機会も多く、国土交通省の調査では、1998年に全国で約5,600台でしたが、2007年には約15,000台、2013年には約26,000台と増加の一途を辿っています。今や公園は、子どもだけでなく、大人や高齢者を含む幅広い年齢層が利用できる場として生まれ変わっているのです。

当院では、①複合型健康器具（階段昇降・ストレッチポール・ぶらさがり・上半身ひねり・足つぼマッサージ）、②背のばしベンチ（背筋を伸ばしてリフレッシュ）の2つを導入しています。使い方を覚えて公園に繰り出してみてはいかがでしょうか？



複合型健康器具



背のばしベンチ

（注）使用に関しては、無理のない範囲でお使いください。また、入院患者様、及び、通所利用者さまは担当スタッフとご相談の上、安全に注意してお使いください。

第5回ウエルカムパーティの開催

今年度4月1日に20名の新入職員を迎えた当法人。5月12日（木）に、今年で5回目となる「ウエルカムパーティ」を行いました。ウエルカムパーティとは、春に毎年行っているイベントで、法人内の計13チームがそれぞれのチームの機能や取り組み、特色を発表しあい、新入職員に法人を知ってもらい、お互いの理解を深め、共有し、いいところは参考にしたいところ！という趣旨です。今年約300名の参加のもと、法人行事の名物司会者の司会でスタート。トップバッターは外来部門からの発表です。3病棟ある回復期リハビリ

テーション病棟でも、それぞれの病棟の特色や独自の取り組みもあり、メモをとりながら聞いている新入職員の方の姿も見られました。

後半はSKIPTレーニングセンターから始まり、最後はサークル紹介。今年も寸劇や手の込んだ映像、一発芸など、それぞれ工夫を凝らした内容で、あつという間の時間でした。また、斉藤理事長からは法人設立50周年に向けた「message」についてのお話もあり、法人一丸となって事業理念「老人にも明日がある」を心に、これからも患者さん、利用者さん、地域のために、社会貢献の気持ちを持って精進していくと法人全体で改めて一致団結しました。





24時間安心サービス

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」をはじめました

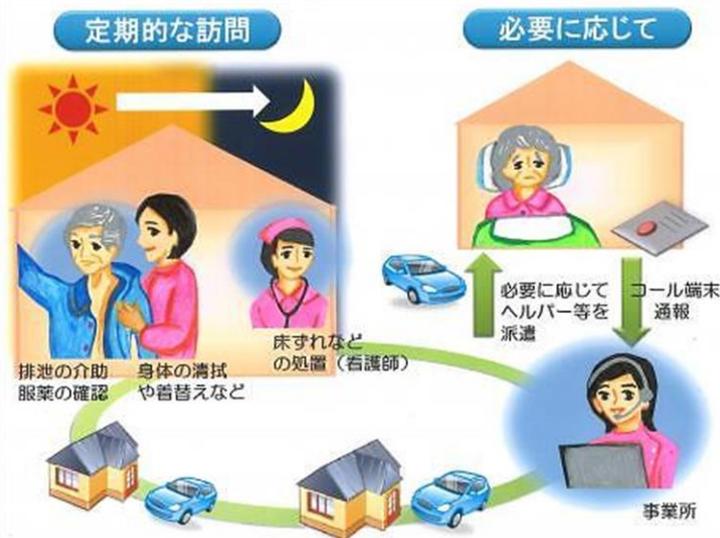
ヘルパーステーションコールは川越市より指定を受け、平成28年2月より「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所」をはじめました。

【定期巡回・随時対応型 訪問介護看護とは】

介護が必要になっても、住み慣れた自宅でできる限り生活ができるよう創設された24時間対応の介護保険サービスです。高齢者のみの世帯やひとり暮らしの高齢者の方の安心感が増すとともに、介護する家族の負担を軽減するサービスです。

【サービスの概要】

1. 利用者の生活リズムに合わせ
 - ・ 1日複数回の定期的な訪問
 - ・ 訪問介護と訪問看護のいずれも提供します。
 - ・ 提供するサービスの内容は、基本的には従来の訪問介護と訪問看護と同様です。
 - ・ 1日の訪問内容が安否確認、健康チェック、見守りのみの提供も可能です。
2. 24時間いつでもつながる安心
 - ・ 一般の電話回線を利用した通報用の機器により、オペレーターと24時間いつでも通話できます。



(埼玉県ホームページより)

【ご利用できる方】

要介護1～5の方

3. 要請に応じて24時間対応での随時訪問
 - ・ 通報を受けたオペレーターが訪問の必要があると判断したときは、随時訪問を実施します。
 - ・ 随時の訪問は、訪問介護も訪問看護もありません。

【介護報酬（利用者負担）】

従来の訪問介護や訪問看護では1回の訪問ごとに利用者負担が生じますが、このサービスは1か月当たり定額負担で利用できます。

(利用者負担)

基本単位 (包括報酬)	訪問介護・看護利用者	訪問介護利用者
要介護1	8,255 単位/月	5,658 単位/月
要介護2	12,897 単位/月	10,100 単位/月
要介護3	19,686 単位/月	16,769 単位/月
要介護4	24,268 単位/月	21,212 単位/月
要介護5	29,399 単位/月	25,654 単位/月

※実際の負担金額は、加算等により変わります。
詳しくは担当ケアマネジャー等にご確認ください。



【利用者家族の声】

「高齢者の世帯なので、介護者が心のよりどころにしている。退院後の生活に夫婦二人では介護者に不安があったが、コール端末（専用携帯端末）があることで『何かあったらいつでも』という安心感がある。」

他県に在住している「家族より

【ケアマネジャーの声】

「特に認知症がある方には、1日に何度か訪問してくれるので生活の様子がよくわかります。一人でいることが不安になる方にも、まめに顔を出してくれることが安心につながっています。安否確認をしてくれるので、一人暮らしの方や困ったときにSOSを出すことが難しい方にも向いているサービスだと思えます。」

ケアマネジャーより

【お問い合わせ先】

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 コール

☎ 049-233-8341

担当者：管理者 松本



「私たちがお伺いいたします」

		内科 1	内科 2	糖尿病内科 (完全予約制)	リウマチ科 (完全予約制)	皮膚科	眼科
月	午前	池田 弘	安 佐里		安倍 達	太田 房代	花房 彩
	午後	長川 史					花房 彩
火	午前	下松 智哉	伊藤 薫	(伊藤 薫)	安倍 達	太田 房代	高木 理那
	午後	伊藤 薫		(伊藤 薫)			高木 理那
水	午前	長澤 洋介	池田 弘	松本 博			
	午後			松本 博	長澤 洋介		
木	午前	原田 修次	伊藤 雅美			太田 房代	橋本 加奈 (診療開始 9:30~)
	午後	稲富 雄人				太田 房代	
金	午前	伊藤 功	伊藤 薫	(伊藤 薫)	安倍 達	太田 房代	木下 望
	午後	伊藤 薫		(伊藤 薫)			木下 望
土	午前	担当医 (埼玉医大医療センター)		松本 博 (第2・4週のみ)			木下 望 (第2・4週のみ)
	午後			松本 博 (第2・4週のみ)			

		神経内科 (完全予約制)	整形外科・形成外科 (完全予約制)	アジェンダ外来	歯科 (完全予約制)	各種検査について	
月	午前		渡邊 芳子		福田 文恵	月曜日の午後⇒心エコー 水曜日の午前・午後⇒視野検査 木曜日の午前⇒胃カメラ・大腸カメラ MRI検査・CT検査・超音波検査等も 随時行っております。	
	午後				福田 文恵		
火	午前			太田 房代	福田 文恵		
	午後	伊崎 祥子 (第1・3・5週のみ)			福田 文恵		
水	午前		渡邊 芳子	斉藤 克子	福田 文恵		泌尿器科診療について
	午後				福田 文恵		第2・4土曜日(完全予約制) 午前/9時00分~ 午後/14時00分~ ⇒清水 浩一
木	午前				中山 京英	在宅ケア相談外来について リハビリテーションや介護保険 サービスの必要性、ケアについ てのご相談を受けアドバイスを 行います。(完全予約制)	
	午後	丸山 元	渡邊 芳子 (第1・3・5週のみ)		中山 京英		
金	午前		渡邊 芳子		福田 文恵		
	午後			斉藤 克子(隔週)	福田 文恵		
土	午前						
	午後						

受付時間 午前：8時30分～11時00分
午後：13時30分～16時30分

診察時間 午前：9時00分～ 午後：14時00分～

※ 第2・4土曜日：泌尿器科外来の診察は15時00分まで(要予約)

※ 各科、休診の場合がございます。休診の情報はホームページ <http://www.kasumi-gr.com/txt/kyuushin.html> でも
ご覧いただけます。

「Plan 50」ロゴマークについて

法人の出発点である霞ヶ関中央病院(現 霞ヶ関中央クリニック)の設立した1972年から2023年で50周年を迎えます。このロゴマークには、6年先の夢の実現に向けて「Plan 50」と名付け、真寿会・真正会が一つのグループとして一体的な計画立案実行の期待が込められています。



霞ヶ関南病院

〒350-1173 埼玉県川越市安比奈新田 283-1
TEL : 049-232-1313 TEL : 049-233-0981

霞ヶ関中央クリニック

〒350-1174 埼玉県川越市かすみ野 1-1-5
TEL : 049-231-5121 TEL : 049-231-5457

通所介護ケアラウンジ南大塚

川越市南台 2-11-4 南台ハイツ 1F
TEL : 049-238-1188 TEL : 049-238-1199



(C) 2010熊本県くまモン #熊本支援

熊本地震による被災者の皆様へ謹んで 哀悼の意を捧げるとともに 心よりお見舞い申し上げます。

医療法人 真正会

平成 28 年 4 月 14 日から 15 日未明にかけて発生した熊本地方の大地震で被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々、ご遺族の皆さまに謹んで哀悼の意を表します。また、救助活動や災害対策にあたられている方々に敬意を表し、一日も早く復旧できることをあわせてお祈りいたします。

医療法人真正会では、万が一の事態に備え、食料品や衛生用品等を備蓄しています。また、災害の際にはスタッフが大切な人的資源となれるよう、研修会や訓練を行っています。



災害支援ナースによる院内研修会の様子

また、有事の際には、法人として円滑な医療の提供と避難生活のお手伝いができるよう、地域の方々と協力しながら準備をすすめてまいります。

一番大切なのは一人一人が自分の命を守る行動をとれること、災害への備え、そして助け合える関係づくりです。この機会に、ご家庭の備えについてもう一度見直してみましょう。



災害支援ナース

災害支援ナースとは、看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職のことです。都道府県看護協会に登録されています。

災害支援ナースの役割は、地震や土砂災害等が起こった被災地で必要とされる医療活動を行うこと、避難生活という特殊な環境の中で生活する被災者への生活支援、そして被災地の医療施設で働く看護師の交代要員となることです。



● 非常用品として備えておくもの

【非常持ち出し品】 リュックなどにまとめておく	【非常備蓄品】 1人3日分程度 停電・断水に備える	【防災準備品】 地震直後の火災や 家屋倒壊に備える
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 飲料水（1人1日3ℓ目安）	<input type="checkbox"/> 消火器
<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 食料品	<input type="checkbox"/> 風呂水の汲み置き
<input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 履物	<input type="checkbox"/> ろうそく（倒れにくいもの）	<input type="checkbox"/> おの ハンマー のこぎり
<input type="checkbox"/> 食料品	<input type="checkbox"/> 簡易ガスコンロ	<input type="checkbox"/> スコップ バール
<input type="checkbox"/> マッチやライター	<input type="checkbox"/> 固形燃料	<input type="checkbox"/> 防水シート
<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 雨具（防寒具）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

● 自分が避難することを想像して必要なものを書いておきましょう。

【その他個人で必要なもの】長期の被災生活を見越して
<input type="checkbox"/> 歯ブラシなどの口腔衛生用品
<input type="checkbox"/> 常用している内服薬
<input type="checkbox"/> ティッシュやウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> オムツなど
<input type="checkbox"/> ビニール袋 ポリ袋
<input type="checkbox"/> 水を保管するタンクやペットボトル
<input type="checkbox"/> 連絡先がわかるもの
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

その他：家族が離れ離れになった場合の連絡方法や避難場所についても確認しておきましょう。

